



➤ Harvard Book Prize 受賞!



Harvard 大学の卒業生が作る Harvard Club は、世界の優秀で国際性豊かな高校生にハーバード大学関連の本を1冊贈呈する、というプログラムを行なっています。現在世界中で約1900校の高等学校が参加しています。この名誉ある Harvard Book Prize の受賞者に、日比谷高校から元23R(現33R)のドゥモンタルト健二君が選ばれました。ドゥモンタルト君は昨年度のG10「ボストン・ニューヨーク研修」の一員であり、卓球部に所属し、日々向学心にあふれた学校生活を送っています。先輩の姿を励みに、さまざまな活動に参加していきましょう。

➤ Harvard Club による留学オリエンテーション



3月25日に、ハーバードクラブ(ハーバード大学在日同窓会)の支援を得て、ハーバード大学進学希望を主とする米国大学進学を考える生徒のための講演会・懇談会が開催されました。オリエンテーションは英語で行われ、受験準備や学習内容、大学卒業後の進路等について、貴重な講演をいただきました。海外大学への進学は、今や進路選択の一つの選択肢です。だからこそ、希望する学校の情報や準備などについては、正確で良質な情報が必要となります。こういった機会をぜひ活用してください。

➤ 東京医科歯科大学 “Global Communication Workshop 2017” 参加者決定!

前号でもお伝えした東京医科歯科大学の「英語模擬交渉ワークショップ」に、本校から12名の参加が決定しました。1年生も積極的に参加を希望してくれたことはとてもうれしいことです。事前に”The Vaccination Boycott in Nigeria”という約6ページにわたる記事を読み、当日はそれぞれが「WHO」や「MFS」の一員と想定して議論を行うというものです。かなりハードな内容ですが、興味深いワークショップです。今年参加できなかった生徒たちは、来年ぜひチャレンジしてください。

➤ HLAB 進路座談会

HLABとは、「世界中から高校生と大学生、社会人が集まり、多様性あふれる環境の中で主体的な進路選択と将来設計について考える」という目的の下、2011年に設立された団体で、日比谷高校での講演会も3回目となります。5月19日に行われたHALB主催の進路座談会は1,2年生21名の参加がありました。普段は聞けない生の大学生の声(大学で学んでいること、なりたい職業等)を伺ったり、進路選択に関するアドバイスをいただいたりと、活発な意見交換が行われ、あっという間の時間でした。参加生徒のモチベーションが高く、今後の進路について幅広い視野をもつ良い機会になったようです。



参加者の感想

・先輩が企画されていたので「行ってみようかな」という程度の気持ちで参加したが、予想以上に自分のためになった。

私は将来就きたい職業が決まってはいるものの、そこへの具体的な道筋やプロセスを自分一人で考えることは難しいと感じていた。しかし、今回同じ職業に就きたいと考えている大学生の方の話を詳しく聞いたり、質問できたことで少しハードルが下がったと思う。

また、今回話を聞いた大学生の方々のように、将来のビジョンを持って行動されている人と関わることで、エネルギーをもらい、自分のモチベーションアップにもつながった。予定が合えばH L A Bのサマースクールにも応募してみようと思う。(17R S.T.さん)

・大学生と双方向で話ができただけ貴重な時間でした。大学受験についてはもちろん、大学生活についての素朴な質問や日々の悩みの相談にも気軽に応じていただきました。今回の座談会を通して、近い将来自分がどうなりたいたいのかがより具体的に見えてきたように思います。(23R M.N.さん)

➡ 読売テクノ・フォーラム「ゴールド・メダル賞受賞者による記念講演会」

読売テクノ・フォーラムとは、読売新聞が日本の科学技術を後押しするために活動している組織です。科学技術分野で優れた業績を上げた若手研究者を表彰する「ゴールド・メダル賞」の受賞者が決定し、その記念講演会が5月20日、日本プレスセンターにて行われました。日比谷校生も参加しました。



ゴールド・メダル賞
受賞記念講演会
2017
読売テクノ・フォーラム
Yomiuri Techno Forum

【受賞者】

伊丹 健一郎氏 (名古屋大トランスフォーメティブ生命分子研究所拠点長)

『迅速合成触媒の開発と機能性分子の創製』

斉藤 博英氏 (京都大 i P S 細胞研究所教授)

『RNAによる細胞運命制御システムの開発』

井出 哲氏 (東京大大学院理学系研究科教授)

『巨大地震の発生機構の研究』

参加者の感想

・「ベンゼン」や「ゆっくり地震」、「RNA」などこの講演会の中で初めて耳にする言葉が多かったです。しかし、先生方が私たちにも分かるように面白く話してくださったので、最先端の科学をたくさん理解することができたと思います。特に、レゴのように同じ原料から薬や液晶画面など様々なものを作れて、それを原子レベルで自由にデザインできるという合成分子にとっても興味を持ちました。

分からないことを解明することに12年間もの長い間集中できる訳や、デザイン通りに作る方法など、質問をした私たちに伊丹先生は優しく答えてくださり、質問以外の様々なことも教えてくださいました。

将来私は研究職に就きたいと考えているので、先生方の研究者になった理由や、大学での研究の様子などを聞くことができ、とても良い勉強になりました。(13R H.K.さん)

・この講演会に参加して何より強く感じたのは、どの先生も自分が研究していることへの強い愛を持っていることです。初めは違う分野を志していたという経歴もあったらしいですが、それでも今の自分の研究テーマに「100%の力で取り組んでいる」という熱い心に触れることができました。私自身は今まであまり理系分野について深く追求することはなかったのですが、今までよりもずっと生物の授業が楽しみになりました！

また、先生方の研究テーマにはどれも人類の夢が詰まっていて、聞いていてとても楽しかったです。合成分子は発展させると宇宙開拓の大きな進歩になり、地震学は震災の被害を減らせ、RNAは難病が治るようになると思うと、それらは非常に難しいことだと分かっているけど、とても興味を持ちました。この講演会に行って本当に良かったです。理系の楽しさを知ることができて最高に嬉しいです。(13R K.S.さん)

旺盛な知的好奇心をもって、幅広い知識を吸収するためにも、こういった機会をぜひ活用してください。さまざまな情報は2階の掲示板(SSHのとなり)や階段の掲示板などに示していきます。必要に応じて教室掲示もします。